

**南北海道定住自立圏共生ビジョン（原案）に対する
パブリックコメント手続の実施結果について**

案 件 名	南北海道定住自立圏共生ビジョン（原案）
募 集 期 間	平成26年8月18日～9月17日
担 当 課	函館市企画部国際・地域交流課
意見提出者数	2名（7件）

「意見の概要」については、原文を要約および分割して掲載しており、類似したご意見はまとめています。

○南北海道定住自立圏共生ビジョン（原案）に対する意見の概要と市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方
1	日常生活の安全・安心の確保 圏域が抱える最大の脅威は原発や巨大化する自然災害である。定住自立圏構想の推進は、圏域の安全・安心の確保を考える良い機会となると思う。	圏域の「安全・安心」に関連する事業として、ドクターヘリの導入等を掲載したところですが、ご意見を頂戴した防災の観点についても、今後、共生ビジョン懇談会の場で協議してまいりたいと考えております。
2	人口減少対策 人口減少と高齢化が進む中において、高齢者をもっと活用した施策を展開し、中心市にそれを統括する機能を持たせてはどうか。	人口減少・高齢化については、圏域のみならず、全道・全国的な共通課題であることから、国や道との連携を図りながら、各種施策に取り組んで行く必要があると考えております。
3	子供たちが遊べる場所の整備 動物園、水族館など、子供たちが遊べる場所を整備することにより、子育てしたいと思えるような街にしていくべきと考える。	子育て支援メニューの充実など少子化対策については、圏域の共通課題と認識しており、今後、連携を図りながら各種施策に取り組んで行く必要があると考えております。
4	オンリーワンの圏文化づくり 他の圏域と同様であることは危険なことであり、特色を持った存続に値する圏域を創っていくべきと考える。	当圏域の特色ある事業として「地域国際化」を掲載しておりますが、今後、共生ビジョン懇談会において、地域特性を活かした様々な事業についても検討を深めてまいりたいと考えております。

No.	意見の概要	市の考え方
5	駅前商店街の活性化 駅前の商店街に活気を取り戻すために、例えば、若い世代が積極的に出店できるような支援システムをつくってはどうか。	産業振興への取り組みは、安心して住み続けられる圏域づくりに欠かせない重要な視点であると認識しており、ご意見の趣旨を踏まえ、今後、共生ビジョン懇談会の場で協議してまいりたいと考えております。
6	地域に貢献できるIT産業の育成 若年層の流出を食い止めるために、自治体、企業、大学が連携して一次産業のIT化を推進してはどうか。	
7	観光産業のさらなる発展 函館の知名度とブランド力を活かし、国際的な観光産業を発展させる必要があると考える。	

意見等を考慮した結果の修正案	意見による修正はありません
結果の配布場所	企画部国際・地域交流課（市役所本庁舎6階）
お問い合わせ先	企画部国際・地域交流課 TEL 0138-21-3634 FAX 0138-23-7604 E-mail:kouiki@city.hakodate.hokkaido.jp